

「わがまちの道徳教育推進」プラン 香美市教育委員会		所管する小学校名	舟入小学校・山田小学校・楠目小学校・片地小学校・香長小学校・大宮小学校・大栃小学校			校数	7校	計	10校
		所管する中学校名	鏡野中学校・香北中学校・大栃中学校			校数	3校		
道徳教育推進方針		本事業を活用し、市町村教育委員会が主体となって地域ぐるみの道徳教育を推進する。推進拠点校（舟入小）の研究を共有しつつ、推進リーダーを活用し、学校・家庭・地域が連携した道徳教育の充実をめざす。							
年度当初の拠点地域の状況（5月調査を記載）		到達目標		中間検証（下半期に向けての改善事項）		年度末（2月）		到達目標達成状況	
道徳性に関する現状		肯定%		道徳意識調査の肯定的回答の割合の向上		現状	肯定%		
①道徳の勉強は、すきだ	87.3%	①「道徳の勉強は、すきだ」を3ポイント以上向上				①	%		
②道徳の授業では、自分の考えを伝えたり、ほかの人の考えを聞いたりしながら、自分のこと(生き方)についてよく考えている	85.3%	②「道徳の授業では、自分の考えを伝えたり、ほかの人の考えを聞いたりしながら、自分のこと(生き方)についてよく考えている」3ポイント以上向上				②	%		
③家の人と道徳の話をしたり、「家庭で取り組む 高知の道徳」を読んだりしている	48.3%	③『家の人と道徳の話をしたり「家庭で取り組む 高知の道徳」を読んだりしている』5ポイント以上向上				③	%		
④自分には、よいところがあると思う	83.1%	④「自分には、よいところがあると思う」3ポイント以上向上				④	%		
⑤将来の夢や目標をもっている	88.0%	⑤「将来の夢や目標をもっている」3ポイント以上向上				⑤	%		
⑥人が困っているときは、進んで助けている	88.8%	⑥「人が困っているときは、進んで助けている」3ポイント以上向上				⑥	%		
⑦地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある	81.9%	⑦「地域や社会をよくするために何をすべきかを考える」3ポイント以上向上				⑦	%		
到達目標達成のための取組		取 組 計 画				指標達成状況の分析			
取組項目	取組の評価指標	5月～8月		中間評価	9月～2月（中間検証を踏まえての追記・変更可）		達成状況		年度末評価
道徳教育の主体的な推進体制の整備	◆香美市道徳教育推進地区協議会を活用し、市内の道徳教育推進体制を充実させる。 ◆道徳教育推進リーダーが模範授業や研修講師を行う。	①香美市道徳教育推進地区協議会（3回） ・わがまちの道徳教育推進について共通確認・中間検証 ・道徳教育意識調査結果の協議と取組策の検討 ②大宮小道徳教育推進リーダーによる公開授業（1回） ③舟入小拠点校リーダーによる校長会研修（1回）			①香美市道徳教育推進地区協議会（3回） ・推進プランの進捗確認 ・道徳教育意識調査結果の検証 ・年度の研究集約と次年度プランの作成 ②舟入小道徳推進リーダーによる公開授業（1回）				
道徳科の趣旨を踏まえた指導方法及び評価の在り方に関する道徳の授業実践の研究	◆授業力チェックシート【児童生徒用】【教師用】におけるポイントを年度当初より向上させる。 ◆県研修会に参加し、広げる。	①授業力チェックシート【児童生徒用】【教師用】の実施。 ②公開授業指導案等成果物共有（教育研究所でデータ管理） ③参考書籍・DVDの充実（教育研究所で管理） ④道徳研修講座・道徳教育指導者養成研修への参加と地区協議会での周知			①授業力チェックシート【児童生徒用】【教師用】の検証 ②連携協議会での推進拠点校による研修・視察等の報告 ③中学校教科化に向けての情報共有（教科書決定後）				
小小連携・小中連携による小・中学校の道徳教育の充実	◆推進拠点校や香美市教職員研究会（道徳部会）の公開授業に積極的に参加する。 ◆香美市いじめサミットに、積極的に取り組む。 ◆自校以外の道徳参観日に参加し、積極的に交流する。	①舟入小推進拠点校公開授業（2回） ②道徳参観日や道徳だよりを交流し、良いところを取り入れる。（道徳参観日：山田小・大栃小・舟入小・大宮小） ③香美市いじめサミットに向けての取組			①舟入小推進拠点公開授業（4回） ②香北中推進教師による公開授業 ③道徳参観日や道徳だよりを交流し、良いところを取り入れる。（道徳参観日：大栃中・楠目小・片地小・香北中・鏡野中・香長小） ④香美市いじめサミットの振り返り				
学校・家庭・地域の連携を図ったまちぐるみでの道徳教育の推進	◆「家庭で取り組む 高知の道徳」活用事例を提供する。 ◆コミュニティ・スクールの活用を図る。 ◆「家族愛の作文コンクール」に応募する。	①道徳意識調査項目「③」の数値を伸ばすための手立ての協議。 ②ゲストティーチャーや地域のリソースを活用した道徳教育の推進。 ③全小中学校が、「家族愛の作文コンクール」に応募する。			①アドバイザーの招聘（予定） ②ゲストティーチャーや地域のリソースを活用した道徳教育の推進と成果検証。				

※評価 A（十分できた） B（おおむねできた） C（あまりできていない） D（全くできていない）